



神奈川県立保健福祉大学 看護学科 主催

2021年度新人看護職員 卒前フォローアップ研修会活動報告

看護学科では、COVID-19による影響を受け、学内での演習、病院等の実習が制限されるなか、看護基礎教育の卒業を迎える4年生が少しでも自信をもって、新人看護職員としてスタートができるよう、卒前フォローアップ研修を企画しました。その様子をご報告します。



研修プログラム

2022年 日時	2時限目 (担当者名)	3時限目 (担当者名)	4時限目
3月8日 (火)	急性期看護実践ポイント (土井先生)	生活援助看護技術演習 (口腔ケア、体位 変換法、車椅子移乗法) (水戸先生)	自己練習
11日 (金)	看護実践の基本ポイント (水戸先生)	診療に伴う看護技術 (吸引法、導尿法、 採血法、静脈内注射法) (宮芝先生・大場先生・渡邊先生)	入試にて 入構規制
14日 (月)	リプロダクティブヘルスケア実践ポ イント (谷口先生)	フィジカルアセスメント (呼吸音・心 音・腸蠕動音の聴取) (宮芝先生・長島先生)	自己練習
15日 (火)	慢性看護実践ポイント (安藤先生)	生活援助看護技術演習 (口腔ケア、体位 変換法、車椅子移乗法) (黒河内先生、大園先生)	自己練習
17日 (木)	小児看護実践ポイント (川名先生・西名先生)	診療に伴う看護技術 (吸引法、導尿法、 採血法、静脈内注射法) (加藤木先生・宮芝先生)	自己練習
18日 (金)	元気にお仕事を開始するために (渡邊先生) (榊学科長)	フィジカルアセスメント (呼吸音・心 音・腸蠕動音の聴取) (水戸先生・土井先生・安藤先生)	自己練習

研修風景



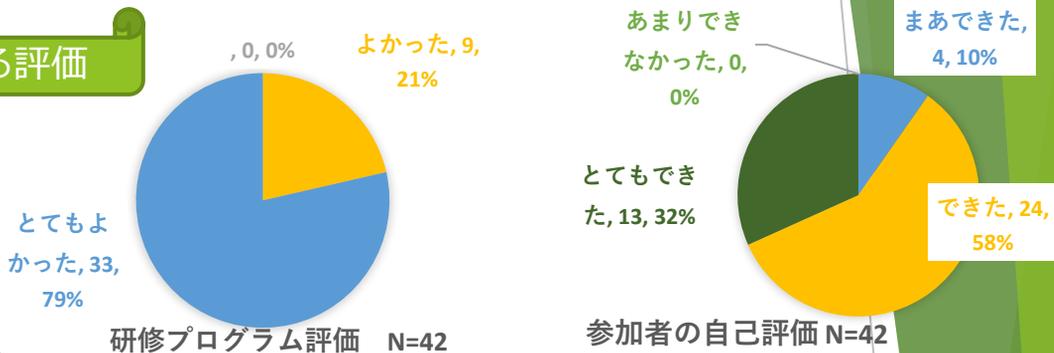


神奈川県立保健福祉大学 看護学科 主催

研修者の参加状況

研修参加者は、R3年度看護学科卒業予定者のうちの**20名 (23%)**で、午前・午後に分けての**延べ人数**は、**68名**でした。午前中のミニレクチャーでは、オンライン参加者が**延べ26名**、午前対面参加者が**16名**、午後からの看護技術演習参加者は**26名**でした。

参加者による評価



<参加者の感想>

- 3月8日
 - ・約1年前に急性期実習以来の講義だったため、急性期看護における観察の視点や合併症などについて知識が抜け落ちていた所がありましたが、今日の講義で改めて観察の視点などを確認することが出来、とても勉強になりました。
 - ・新人看護師時代の実体験をお聞きして、4月からの自分のイメージが湧いたから。
 - ・普段の講義の時や実習の時などではあまり聞くことのできなかつた先生の新人看護師の時の話も講義内容とあわせて聞くことができたから。また、その先生の実体験からのポイントやアドバイスを聞くことができて、改めて大切なことや学びになる部分が多かったから。
- 3月11日
 - ・これから自分が歩んでいく中で、基盤となる自分のモットーだったり、看護において大切にしたいことを改めて考えるきっかけになったから。実技も滅菌物の取り扱いから、診療的技術について振り返ることのできる内容だったから。
 - ・改めて、どんなことを大切にしながら看護をしていきたいか見つけ直すことのきっかけをくれた。
 - ・看護観について教育に力を入れている先生からのお話が面白かつたし、みんなが何を考えているかわかつたし、導尿、点滴準備、気管吸引の手技や名前を覚えてなさすぎてやばかつたのでよかつた
- 3月14日
 - ・リプロの看護過程にとっても不安があつたので、確認できて良かつたです。また、スライドもポイントがまとまっている上に、大切な視点を教えていただけて勉強になりました。
 - ・以前の知識・復習になるような部分に加えて、新しく知ることができた部分もあつた。
 - ・忘れていたリプロの知識を見直すことができました。
- 3月15日
 - ・新人看護師が体験しそうなエピソードを聞くことができて興味深かつたから。
 - ・慢性期における患者の特徴や看護師の関わり方の要点を押さえることのできる内容だったから。先生の体験談から、現場に出てからの先輩やチームメンバーとの関係性の築き方のヒントを得ることができたから。
 - ・先生の体験談、経験談とともに慢性期における看護のポイントについて学ぶことができた。
- 3月17日
 - ・事例検討を進めながら、子どもやご家族の思いに考えをめぐらせ、看護師としての視点や小児看護についての考えを深めることができたから。
 - ・午前中の内容で講義として聞くだけでなく、自分の意見を言ったり他の人の意見を聞いたりしてしっかりと今までの知識などが身につけているのだという実感がわいた。特に、自分たちが言ったことに対して、先生が肯定的なことを言ってくれたので、これまで学んできたことをこれから活かしていけるのではないかという自信につながつた。
 - ・小児看護で大切な考え方を学ぶことができた
- 3月18日
 - ・向上させるべき自分の力がわかり、今後の看護師としてのキャリアの中でも役に立てられそうだと思ひました。
 - ・就職直前で不安な時期に、自己理解や今後の心の持ちようのようなものを学べて、元気に働いていきたいと思ひました。
 - ・これまでのフォローアップ研修の講義では、どのように患者さんと接していくべきかということやポイントなどを学んだ。今回の講義では自分が看護師としてどのようになるべきか、自分の強み、弱みはどこなのかなど自分のことを見つめ直しこれからどんなことを頑張ろうかということに目が向けられるようになった。

総評

コロナ禍のまん延防等備点措置発令のなかでの開催であり、また卒業予定者への案内が遅かつたこともあり、参加者数は少なめでしたが、参加した人の感想をみると、卒業前のまとめとして、新人看護職員になる準備として有意義な研修会になつたと言えるでしょう。引き続き応援したいと思ひます。次は卒後フォローアップ研修につないでいきます。